

食育推進ネットワークやまなし交流会の概要

1. 日 時 平成21年2月27日（金） 13:00～16:00
2. 場 所 山梨農政事務所 第一会議室
3. 出席者 食育推進ネットワークやまなし参加者等 17名
山梨県
山梨農政事務所長、消費・安全部長、消費生活課長ほか
4. 内 容
 - ◇講 演
農業体験と地域に根ざした食育の推進について
地域再生診療所 所長 井上 弘司 氏
 - ◇事例発表
農業体験を受け入れて
甲斐の国 大和自然学校 ディレクター 鶴岡 舞子 氏
 - ◇意見交換・交流会

5. 意見交換及び質疑応答の概要

参加者： 07年度、私どもは、教育ファームということで、農政事務所の協力を頂きながら、子どもたちと年間を通して種まきから刈り取りまでの稲作体験を開催しました。子どもが変わることで、親も変わってもらうのが狙いでした。結果、今までご飯を作らなかった親が作るようになった。という事例もあります。

今年は、大豆作り体験を行おうと考えています。

そこで、本日の講演の中にあつた危機管理（事故対策）のことで、マニュアルが4月頃に出されるという話しでしたが、それはどのようなものでしょうか。

井上弘司氏： カード式のもので現場でも持って行けるようなものになっています。

道具の使い方・手入れの仕方、熊などの危険について、また、安全管理については相当細かく私が書きました。それをそのまま使っても良いですが、使いやすく加工しても良いと思います。

配布については、再来週に最終調整を終え、印刷に入るので、4月以降の配布になると思います。

印刷部数・配布対象はまだ未定ですが、農政事務所には配布されると思います。

事務所： 農政事務所には配布されるとのことですので、事務所で増す刷りして配布できるのかどうかという点を確認し対応したいと思います。

参加者： 農業体験を受け入れる農家に関しては、経済的な負担も大きいと聞きます。また、本日の事例発表の中で、「農業体験を行っていく上で、農家ではない、独自の施設が今後必要ではないか」という疑問に対しての井上先生の意見をお聞きしたい。

井上弘司氏： 必要ないと思います。
農家が、目の前の金を稼ぐか、将来の金を稼ぐかということになると思います。将来の担い手という面からも、子供たちにお金をかけるということは、将来のエンドユーザーを育てる、将来、自分の農作物を買ってもらえることに繋がると思います。

ちなみに、私の地元では、体験料が日本一高いと言われていました。例えば、米に関して言うと、農家に対して所得補償という面で、米の販売価格の2倍程度の体験料で受入を行っています。

また、子供たちが作った米には手は入れません。悪い物はそのままの子どもたちに見せ、本当の農業の姿を教えています。

参加者： 今、先生のお話で体験料が高いということですが、具体的にどれくらいの金額で受入を行っているのでしょうか。私共も幾つか体験を行っているので、参考までにお聞きしたいと思います。

井上弘司氏： 米の場合で言いますと、生産者が出荷する値段の2倍程度です。はっきり申しませんが、計算してみてください。

参加者： 食育とは、食を育むことだと思います。食べ物をキッチンと作って食べさせることが大切だと思います。しつけも含め、親が子どもをどう育てるかが一番大切、親や学校などでの教育も大切です。

農業体験も大切ですが、食育という面からいうと、食べることが最も重要、バランス良く食べることが重要だと思います。

井上弘司氏： 1日のうち2食は家庭での食事ですから、家庭で食育をしっかりやれば良いことだと思います。だから親に食育を教えなければならないのが悲しい現状であると思っています。

鶴岡舞子氏： 私の場合、農業を介して食べるものなど、本物を知りたい。食の安全・安心が騒がれている今、自分で作った安心なものを食べ、次

代へ伝えたいと思い、こういう仕事を選びました。

食卓と農業は繋がっていることを親や子に伝え、また、体験した子が変わり、それが親へ伝わり変わる。体験することによってそういうことを考えるきっかけになったら良いと思っています。

堀口部長：

私の育った時代も祖父母・両親と同居し、家庭で普通に山菜採りや薪割りなど体験をし、普段の生活の中で食べ物の大切さなどを教わるという食育をやっていました。

体験した子どもが親に伝え、親が変わり地域が変わり、そういうねりが広がれば良いと考えています。そのためにも、こういったネットワークでの情報交換、結びつきが大切だと思いますので、今後とも食育活動の盛り上げにご協力をいただきたいと思います。

鶴岡舞子氏：

県内において体験を行っている団体の取組を聞く機会をもっと増やしてほしい。また、そういう方々との意見交換を行う機会をもっと作ってほしいと思います。